



いわき市

臨時市長記者会見

令和5年10月13日



いわき市

案件

令和5年台風第13号に伴う大雨による
災害への対応について

- 1 災害発生及び災害対応の検証について
- 2 消防団による災害対応の活動について
- 3 災害対応の振り返り

1 災害発生及び災害対応の検証について

今般の災害経験を本市の防災力・災害対応力の向上に繋げていくため、専門的見地から災害発生要因や災害対応の課題等について検証を行う

○検証方法 本市と「防災に係る連携と協力に関する協定」を締結している東北大学災害科学国際研究所に調査・検証を依頼

○検証メンバー 同研究所を中心に福島工業高等専門学校等とも連携し、メンバーを構成

氏名	所属	役割
柴山 明寛	東北大学 災害科学国際研究所 災害文化アーカイブ研究分野 准教授	統括
森口 周二	東北大学 災害科学国際研究所 計算安全工学研究分野 准教授	ハード分析
高橋 尚志	東北大学 災害科学国際研究所 陸域地震学・火山学研究分野 助教	ハード分析
新家 杏奈	東北大学 災害科学国際研究所 イオン防災環境都市創生共同研究部門 助教	ソフト分析
奥村 誠	東北大学 災害科学国際研究所 レジリエンス計画研究分野 教授	ソフト分析
菊地 卓郎	福島工業高等専門学校 都市システム工学科 教授	ハード・ソフト分析
丹野 淳	福島工業高等専門学校 都市システム工学科 助教	ハード・ソフト分析
橋本 雅和	関西大学 環境都市工学部 河川防災研究室 准教授	ハード分析

- 検証期間 今月中に調査開始、年内に中間報告、年度内に検証結果報告を予定
- 主な検証項目 宮川・新川の被災実態調査及び課題整理
避難行動の実態調査及び課題整理
避難所の実態調査及び課題整理
災害対策本部及び地区本部の実態調査及び課題整理
災害復旧の実態調査及び課題整理
土砂災害の実態調査及び課題整理
- その他 福島県においても宮川・新川の氾濫要因等の調査分析を検討していることから連携・協力し実施していく予定

2 消防団による災害対応の活動について

消防団は地域での避難広報や水防活動など災害対応に尽力

○消防団の活動

【9月8日(金)～9日(土)】

8日15時00分の高齢者等避難発令から、翌日15時09分の大雨警報解除に伴う避難指示解除まで、各地域において避難広報や水防活動に従事 【活動団員:927名】

【9月9日(土)～10日(日)】

災対地区本部からの依頼に基づき、常磐藤原町で道路上の土砂撤去、内郷白水町で排水活動を実施 【活動団員:延べ139名】



2 消防団による災害対応の活動について

(2/2)

【9月16日(土)～18日(月)・24日(日)】

被害が集中した内郷地区において災害廃棄物の撤去を支援(16日は全支団による一斉活動、17日・18日・24日は支団ごとに活動)

【活動団員:延べ384名】

【参考】消防団の被害状況

- | | | |
|------|-------------------------------------|--------|
| ・施設 | 床上浸水1棟、雨漏り3棟 | ⇒ 修繕予定 |
| | 泥水流入8棟 | ⇒ 清掃済み |
| ・車両 | 水没4台(廃車) | ⇒ 購入予定 |
| | 水損2台 | ⇒ 修繕予定 |
| ・装備等 | 被服(防火衣、活動服等)、
車両積載品(トランシーバー、投光器) | ⇒ 購入予定 |



消防団による日頃からの活動、災害時の活躍に敬意と感謝を込めて
各支団への表彰を予定

3 災害対応の振り返り

- 【9月7日】 13:30 “台風第13号への備えについて”注意喚起
- 【9月8日】 13:30 “台風第13号への備えについて”注意喚起
- 15:00 市内全域 【警戒レベル3高齢者等避難】発令
- 16:45 大雨警報(土砂災害)
- 17:09 土砂災害警戒情報
- 17:38 大雨警報(土砂災害・浸水害)、洪水警報
- 19:00 市内全域 【警戒レベル4避難指示】発令
- 19:39 顕著な大雨に関する福島県気象情報(線状降水帯発生)
- 19:41 福島県記録的短時間大雨情報(いわき市南部)
- 20:00 蛭田川流域【警戒レベル4避難指示】発令
- 20:20 宮川流域 【警戒レベル4避難指示】発令

3 災害対応の振り返り～警報及び避難指示等

(2/2)

20:40 蛭田川・宮川流域【警戒レベル5緊急安全確保】発令

20:50 渋川流域【警戒レベル5緊急安全確保】発令

21:05 山田川・天神川流域【警戒レベル5緊急安全確保】発令

21:20 新川(内郷)・茨原川流域【警戒レベル5緊急安全確保】発令

21:40 市内全域の河川流域【警戒レベル5緊急安全確保】発令

21:48 福島県記録的短時間大雨情報(いわき市北部)

【9月9日】15:05 土砂災害警戒情報解除

【警戒レベル5緊急安全確保】から【警戒レベル4避難指示】へ

15:09 大雨警報解除 市内全域【警戒レベル4避難指示】解除

台風への備えや避難等について早めはやめに呼びかけを行った
一方で、避難情報等を知りながら逃げ遅れた方が生じており、
如何に具体的な避難行動へ繋げられるかが課題

○人的被害

死者 1名
負傷者(軽傷) 5名

○住家被害

全壊 3件
大規模半壊 60件
中規模半壊 207件
半壊 634件
一部損壊 742件

床上浸水 1,261棟
床下浸水 481棟

○公共施設被害

道路・橋梁 308か所
河川等 74か所
公園施設 4か所
下水道施設 10か所
農業土木施設 532か所
林道施設 121か所
商工観光施設 1か所
水道施設 9か所
文教施設 11か所
その他(市営住宅等) 19か所



○その他

がけ崩れ	110か所
農地被害	215か所
農林業施設被害	27件
農作物被害	15件
水産業施設	1件
商工観光施設	121事業所
その他の施設	46件



○被害額

総額 約48億円

3 災害対応の振り返り～避難所開設状況（10月12日現在）

○避難者の状況

区分	避難所数	避難世帯数	避難者数
最大 9月9日(土) 1時00分	27箇所	307世帯	644人
現在 10月12日(木) 10時00分	2箇所	17世帯	21人

○避難所開設状況

避難所名	開設日	避難世帯数	避難者数
内郷コミュニティセンター	9月13日(水)	16世帯	19人
【福祉避難所】		1世帯	2人
計		17世帯	21人

- ・避難者一人ひとりに、地区保健福祉センターのケースワーカー等による個別支援を実施
避難者のニーズを踏まえた住宅物件情報の提供などを行っている
- ・被災者21人中16人が65歳以上の高齢者であるため、福祉施設の利用なども視野に入れながら、引き続き個々のニーズを踏まえた支援を行っていく

3 災害対応の振り返り～災害ボランティア (10月11日現在)

○開設日 9月10日(日) ～

○設置場所 **いわき市災害ボランティアセンター**
(平字菱川町6-4 いわき市社会福祉センター 第2駐車場)

勿来地区災害ボランティアセンター ※10月15日(日)で閉所
(錦町大島1 勿来支所 庁舎裏駐車場)

○活動内容 一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、障がい者世帯等を優先に
室内の片付け、家具の移動、水害ごみの分別、泥だし 等

○活動実績 ボランティア事前登録者数 2,576人(うち県外 919人)
依頼件数 延べ637件
派遣件数 845件
派遣人数 延べ4,168人(うち県外 1,192人)

- ・被災地のニーズは変化してきており、家の片付けから、庭や地区の集会所、空き地などの片付けに移行してきている
- ・被災地のニーズに対しては概ね対応できている状況

3 災害対応の振り返り～災害廃棄物（10月9日現在）

○仮置場設置 9月11日(月)～10月9日(月)

○受入件数 10,907件

区分	施設名	地区	受入件数
仮置場	勿来市民運動場	勿来	1,981件
	常磐市民運動場	常磐	2,848件
	内郷市民運動場	内郷	6,078件
臨時 仮置場	馬場児童遊園	内郷	
	内町公園	内郷	
	旧常磐塵芥収集基地	常磐	



○運搬用車両(軽トラック)の貸出し 9月12日～10月9日

○床下排水用排水ポンプの貸出し 9月13日～

○戸別収集の実施



- ・幹線道路沿い、狭い路地の集積所などの災害廃棄物は撤去完了
- ・仮置場は10月9日で受入終了し、現在は戸別収集で対応している

3 災害対応の振り返り～り災証明書 (10月11日現在)

9月10日から電子で、9月11日から窓口でり災証明書申請を受付

○受付窓口

市文化センター、各支所、各現地支援センター、
お出かけ市役所

○受付件数(一次) 2,079件
○調査件数(//) 1,804件(86.8%)
○発行件数(//) 1,784件(85.8%)

・先週から今週にかけての申請件数は一日あたり
1桁～10数件程度で落ち着いてきている

区分	申請件数	割合
平	169	8.1%
小名浜支所	30	1.4%
勿来支所	280	13.5%
常磐支所	128	6.2%
内郷支所	482	23.2%
内町支援センター	106	5.1%
白水支援センター	46	2.2%
四倉支所	4	0.2%
遠野支所	2	0.1%
小川支所	15	0.7%
好間支所	110	5.3%
三和支所	2	0.1%
田人支所	1	0.0%
川前支所	0	0.0%
久之浜・大久支所	1	0.0%
お出かけ市役所	79	3.8%
電子申請	624	30.0%
計	2,079	100.0%

3 災害対応の振り返り～住宅支援（10月11日現在）

区分	受付期間	主な対象者	被災状況	申込数	決定 (住宅応急修理 は修理依頼数)	説明のみ	受付場所
公営住宅の 一時提供	1次募集 9月20日(水) ～9月26日(火) 2次募集 10月7日(土) ～10月13日(金)	一時的に住宅 をお探しの方	全壊 大規模半壊 中規模半壊 半壊 床上浸水	118	26 ※一次募集のみ	108	
賃貸型応急 住宅	9月20日(水)～ 10月20日(金)	被災住宅の再 建に期間を要 する世帯の方	原則全壊 ※半壊以上で一 定の要件を満た す方も利用可能 な場合あり	43	18	121	文化センター 勿来支所 内郷支所 現地支援センター
住宅の 応急修理	9月20日(水)～ 4月26日(金)	被災した住宅 を修理し引き 続き居住をお 考えの方	全壊 大規模半壊 中規模半壊 半壊 準半壊	254	57	242	

- ・自分で仮住まいを探すことができない、探し方が分からないといった相談が寄せられており、市内不動産関係団体の協力のもと情報提供等を行っている
- ・一日も早い住まい再建に向け、引き続き関係機関と連携し柔軟かつ丁寧なサポートを行っていく

3 災害対応の振り返り～コールセンター（10月9日現在）

○開設日時 9月12日(火)～ 8時30分～17時00分

○対応件数 577件 第1週(9月12日～18日) 294件(42.0件/日)
第2週(9月19日～25日) 114件(16.3件/日)
第3週(9月26日～10月2日) 87件(12.4件/日)
第4週(10月3日～10月9日) 82件(11.7件/日)

○主な相談内容

- ・住宅支援関係 : 171件(27%;一時提供住宅や応急修理、床下消毒等)
- ・災害廃棄物関係 : 112件(18%;仮置場への搬入方法や回収依頼等)
- ・り災証明関係 : 96件(16%;申請窓口や調査・発行の時期等)
- ・インフラ関係 : 70件(11%;道路や側溝に堆積した土砂への対応等)
- ・生活支援関係 : 83件(13%;生活再建支援制度や各種料金減免等)
- ・ボランティア関係 : 36件(6%;ボランティア依頼等)
- ・その他 : 56件(9%)

・9月中は住宅に関する相談が多かったが、現在は生活支援(支援金等)
に関する相談が多く、他には災害廃棄物の戸別収集に関する相談など

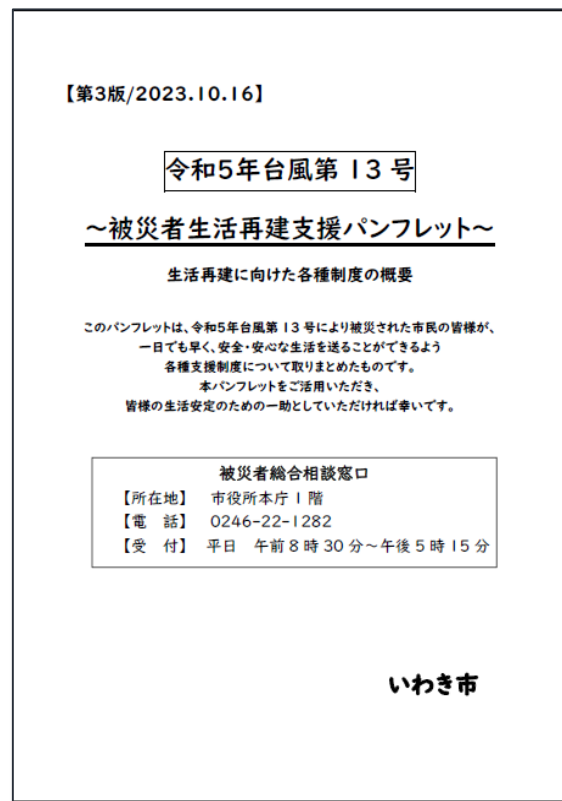
3 災害対応の振り返り～被災者生活支援パンフレット

生活再建に向けた各種制度等を知らせるパンフレットを作成・配布

- ・被災者の生活再建に向けた各種制度の概要等を掲載
- ・被災者総合相談窓口、各支所、各現地支援センター等で配布
- ・市公式ホームページで公開

○**主な項目**

- り災・被災証明書に関すること
- 減免・猶予等に関すること
- 子育て・教育に関すること
- 住宅に関すること
- 市民生活に関すること 等



・10月16日(月)に第3版を発行予定

・固定資産税、都市計画税、事業所税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料等の減免措置などについて追加

3 災害対応の振り返り～現地支援センター（10月11日現在）

- 開設日時 9月13日(水)～ 9時00分～16時30分 ※土日祝も含む
- 設置場所 **内町現地支援センター**（いわき市内郷内町立町35 立町集会所）
白水町現地支援センター（いわき市内郷白水町上代35 上代集会所）
- 主な役割
 - 物資の配布：土嚢袋、マスク、消毒液、ゴム手袋、ブルーシート、被災者生活支援パンフレット 等
 - 物資の貸出：高圧洗浄機、床下乾燥用送風機、床下排水用ポンプ、車両 等
 - 申請窓口：り災(被災)証明書、住宅支援、被災救助費救助金、生活再建支援金 等
 - その他：被災者の需要把握、各種情報提供、関係機関との連絡調整 等
- 利用者数 2,869人（99人/日）
 - 内町センター 2,143人（74人/日）
 - 白水町センター 726人（25人/日）



- ・10月14日(土)までとしていた**設置期間を10月31日(火)まで延長**
- ・利用者は減少傾向にあるが、**引き続き生活再建に向けた支援等**を行っていく

3 災害対応の振り返り～入浴支援

被災された方等へ無料入浴・無料送迎サービスを実施

避難所に避難されている方、床上・床下浸水、土砂崩れ等により自宅での入浴が困難な方、災害ボランティアとして活動された方に無料で入浴サービスを提供
また、避難所に避難されている方、被災により自宅での入浴が困難となった方には、入浴施設(ゆったり館)への無料送迎を実施

○実施期間 9月12日(火)～ (無料送迎は9月16日(土)～)

○対象施設 さはこの湯公衆浴場、湯本駅前みゆきの湯公衆浴場、
いわきゆったり館、いわき新舞子ハイツ
※ 災害ボランティアの方へは、いわき湯本温泉旅館協同組合の10旅館
においても優待措置(割引)を実施

○利用者数 無料入浴 3,760人 156.7人/日 (10月5日現在)
無料送迎 410人 20.5人/日 (10月5日現在)

・利用者は緩やかに減少してきているものの、現在も被災された方の利用
が一日あたり100名程度あることから、当面はサービスを継続していく

3 災害対応の振り返り～被災者への戸別訪問

発災直後、保健師等が被災地域内を巡回し、健康状態等の聞き取りを実施
また、被災者の生活再建に向けて一人の取り残しもないよう、改めて被害の大きかった地域を中心に、市社会福祉協議会と連携し、ボランティアニーズの把握や、り災証明書の申請を促すため、戸別訪問を行いプッシュ型で支援

○実施期間 10月4日(水)～10月22日(日)

○対象地区 内郷地区（白水町、宮町、内町、綴町、高野町）3, 635 世帯
※ 他地域でも必要に応じて実施

○主な内容 被災状況の確認
災害ボランティアのニーズ把握
り災証明書の申請状況の確認及び申請案内
住宅の今後の対応についての意向確認 等

- ・これまでの訪問により把握したニーズとしては、家の片付けなどよりも、福祉的なケアを必要とする場合が多い
- ・状況に応じて地区保健福祉センターや地域包括支援センターに繋ぐなどして対応

3 災害対応の振り返り～国県への要望

○令和5年9月15日 被災者生活再建支援に関する緊急要望

半壊以下の床上浸水世帯について、令和元年台風第19号等災害時と同様に福島県独自の支援制度を創設するよう県知事に緊急要望

○令和5年10月11日 県知事への要望書提出

激甚災害の早期指定や災害廃棄物処理事業に係る補助対象の拡充等について国に強く求めるよう県知事に要望

主な要望事項

- ・激甚災害の早期指定について
- ・災害廃棄物処理事業に係る補助対象の拡充について
- ・被災企業支援について
- ・文化施設(文化財復旧)について
- ・その他(河川の防災・減災、住宅再建の要件拡大、農地被災への復旧支援策 等)

被災された方々の1日も早い生活再建、
被災された企業の確実な事業再建・継続、
被災地域の速やかな復旧・復興に向けて
職員、そして市民の皆様と一丸となって
引き続き**全力**で取り組んで参ります。



END